



# 全肢連



一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

事務局長 吉原 芳徳

R6. 05. 10

令和6年元旦に発生した令和6年能登半島地震は甚大な被害となり、被災地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。当連合会の会員も多くの方が被災しました。心よりお見舞い申し上げます。

### ○石川県肢体不自由児者父母の会連合会 松田郁夫会長より

この度の能登半島地震に際しましては、全国の県肢連・地域父母の会並びに個人の方より多大なるご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

あれから2か月以上が経過しましたが、現在も指定避難所には5,000人以上が生活し、自主避難所、二次避難所などを合わせればその数倍にもなる人たちが不自由な暮らしを続けています。能登半島の先端、珠洲市では今も95%の家が断水していて自宅避難している人たちにも限界が近づいています。その中でも、懸命な復旧作業により被災地への道路が徐々に通行可能になり、石川県肢連高田事務局長が被災者への支援物資を届けたいと申し出てくれて、寝袋を持参して車で奥能登へ向かいました。その中の2家族の様子をお知らせします。



#### お見舞い金お渡し 支援物資

- ・ブランケット10枚
- ・島原うどん 1箱
- ・いろはす 1ケース
- ・綾鷹 1ケース
- ・ポリタンク 3
- ・マスク 1箱
- ・消毒液 1
- ・ビニール袋 10
- ・タンブラー 25

・輪島市門前町のKさん家族は本人、ご両親、お兄さんの4人で地域の公民館で生活しています。地域の人たち30人がここで暮らしていますが、高齢者も多いのでKさん家族が率先して避難所の運営、雑用まで引き受けています。この地は2007年の能登半島地震でも大きな被害があった場所で、昨年5月の地震でも被害を受けています。どこの避難所でお話を伺っても、とにかく人手が一番足りないと言われます。行政関係の職員は限られていて、ボランティアは宿泊場所がなく日帰りで金沢市内からバスで移動しますが、往復に6~7時間もかかり、現地での作業時間がほとんどないとの不満もでています。今回の地震では災害時の問題がすべて炙り出されたようで今後の災害対策の参考にしてもらいたいと思います。



#### お見舞い金お渡し

#### 支援物資

- ・ブランケット 4枚
- ・島原うどん 1箱
- ・いろはす 1ケース
- ・ポリタンク 2
- ・マスク 1箱
- ・消毒液 1
- ・ビニール袋 10

輪島市河井町のFさん家族 ご両親・ご本人・お兄さんは地震後に加賀市の施設に移動。自宅は道路側に傾斜して立ち入り禁止。自宅横で創業80年以上の精肉店を営んでいました。精肉店は輪島朝市通りの南にあり、朝市通りの火災では数十メートルまで火の手が迫りましたが何とか延焼を逃れました。

しかし、お店の入口のガラス扉は割れ、肉を切る機械が倒れて器材が散乱し、水も電気も止まりました。それでも周囲の励ましや、応援に背中を押され先月50日ぶりに店を開けることが出来ました。当面は時短営業で商品も揚げ物の一部のみですが、なじみの味を求めてお客さんが訪れて来ています。ただ、肉の処理や衛生面から水が不可欠で断水が続く中、「とにかく水道が早く復旧してくれるとありがたい」と4代目のご主人であるお兄さんは話しています。

住む家を失った、珠洲市・輪島市の会員さんは半数以上が、現在金沢市内のホテルや旅館の二次避難所・行政が家賃を負担する民間の賃貸住居のみなし仮設住宅あるいは親戚の家等で生活しています。しかしそれにも期限があり、いずれ将来の選択が迫られます。安定した生活が得られるまで支え続けることが会の使命だと考えますので、今後ともご協力をくださいますようよろしくお願いいたします。

全肢連は、この災害による被災地の方々の生活を支援するため、義援金の受け付けをしております。

[\(https://www.zenshiren.or.jp/\)](https://www.zenshiren.or.jp/)

全国肢体不自由児者父母の会連合会（以下、全肢連）は、昭和36年に設立されました。いわゆる父母の会がわが国で発足したのは、昭和20年に肢体不自由児療育事業の始祖とされる**高木憲次博士**の提唱による「母の会」にさかのぼります。当時は療育を目的とする活動はあまり望まれていなかったようでした。しかし、昭和28年ごろから各地に肢体不自由児を持つ父母の会や県単位の連合会が結成されはじめました。

養護学校がないために学校に通えない子どもたちは当時2万人以上いたと言われており、肢体不自由児のための施設も各県に一つあるかないかの状況でした。

障害児を持つ親たちは、家庭に閉じこもりがちな子どもを社会の風にあてたい、就学免除や猶予となっても満足な教育を受けさせてやりたいなど、療育・教育・生活・医療などの面で切実な要求をもっていました。

昭和33年8月に、日本肢体不自由児協会の主催で開かれた「手足の不自由な子どもの父母のつどい」では、「肢体不自由児施設や養護学校を増やすには個人の力ではどうにもならない。全国の母親の力を結集して運動しなければならない」という訴えがなされ、大きな共鳴を得ました。

一方、国による施策も始まりました。加えて昭和35年のポリオの大流行もあり、全国各地の父母たちの連携機運が高まり、翌年、全肢連が発足し、今日に至ります。

全肢連の様々な事業を充実・発展をさせるために**全肢長**様や**全肢P連**様等肢体不自由教育分野とも一層の連携を深め、障害児者とそのご家族の福祉の向上と住み慣れた地域で安心安全に心豊かに生活できる環境作りに取り組んでいきます。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 主な事業の紹介 2024（令和6）年度 予定

## I. 肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

### (1) 全国大会並びブロック大会の開催

- ◇第57回全国大会（第58回近畿ブロック大会奈良大会併催） 奈良市 9月14日～15日
- ◇第34回北海道ブロック大会 釧路市 9月7日～8日
- ◇第41回東北ブロック大会 仙台市 9月28日～29日
- ◇第61回関東甲信越ブロック大会 水戸市 6月29日
- ◇第58回東海北陸ブロック大会 伊勢市 6月8日
- ◇第54回中国四国ブロック大会 鳥取市 11月2日
- ◇第40回九州ブロック大会 福岡市 10月5日～6日

全国大会には、全肢長会長、地区大会には各地区の教育委員会や支援学校にお声がけさせていただきますので、ご出席方よろしくお願いたします。

## II. 肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

### 機関誌、広報誌、情報誌等の発行

- ・「いずみ」（年2回）の発行
- ・「わ」（年1回）の発行
- ・全肢連情報（月1回）

### 全肢連ホームページの拡充

<http://www.zenshiren.or.jp/>



## Ⅲ. 地域父母の会育成強化に関する知識の普及と助成事業

### ① さわやかレクリエーション事業の実施（コカ・コーラ社助成事業）

「ふれあいの輪を広げるキャンペーン」の一環事業として障害児者とその家族が地域住民やボランティアなどとの交流を深め、リフレッシュを図るとともに、父母の会の活性化に繋がる事業、障害児者の社会参加活動の一助となる事業として、コカ・コーラシステムから支援をいただき療育事業として実施しています。

### ② 第4回あーと展覧会2024事業の実施

(コカ・コーラボトラーズジャパン(株)・(株)協和 協賛)

「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」を契機に、全肢連では文化・芸術を通し障害児者や家族が、多くの人に自分の作品やパフォーマンスをみてもらう喜び、一つの作品を完成させることで味わう達成感、生涯学習としての楽しみを見つけるきっかけ作りになる事業です。

昨年度は443点の応募がありました。

千葉県立船橋夏見特別支援学校からは、52点の作品応募があり、「最多応募賞」を授与するとともに、その応募全作品を掲載したパネルを作製し、学校に贈呈いたしました。



贈呈いたしましたパネル

後日、ポスター・チラシを学校にお送りいたしますので、  
応募勸奨よろしくお願いいたします。

**第4回** **作品募集**

# あーと展覧会2024



「ふぐ」 最優秀賞  
「やどかり」 金賞  
2023年度入賞作品

**対象** 障害のある方(年齢・障害種別は問いません)

**作品** 絵画・書道・写真・イラスト・コンピュータアート・木工・縫製・染色・陶芸 など

**締切** 2024年10月18日(金)

**審査** 審査委員会にて入賞作品を選定し、11月末頃に全肢連のホームページで発表(予定)

**応募** ホームページの応募フォームもしくはメールにてご応募ください  
※詳細は全肢連ホームページ、または学校・施設等にお配りしたチラシをご確認ください。

**問合せ先** 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階  
TEL : 03-3971-3666 FAX : 03-3971-6079  
Mail : art-zenshiren@zenshiren.or.jp  
URL : https://www.zenshiren.or.jp

全肢連

## 応募要項

- 【目的】** 自分の作品を見てもらう喜びや、一つの作品を完成させることで味わう達成感  
生涯学習としての楽しみを見つけるきっかけ作りと、隠れた才能の発掘など
- 【主催】** 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会(全肢連)
- 【協賛】** コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社  
株式会社協和
- 【対象】** 障害のある方(年齢・障害種別は問いません)
- 【作品】** 絵画、書道、写真、イラスト、コンピュータアート、木工、縫製、染色、陶芸 など  
・応募は一人2点以内  
・未発表(所属先等での内部発表会は除く)のオリジナル作品  
・構図やデザイン等を模写した場合は、原作者の了解を得てから応募してください  
・グループ作品も可
- 【締切】** 2024年10月18日(金)
- 【展示】** 全肢連ホームページ上に全作品を展示(WEB 展覧会)  
・期間2025年1月～12月末(予定)
- 【審査】** 審査委員会にて入賞作品を選定
- 【表彰】** 2024年11月末に全肢連ホームページで入賞作品を発表(予定)  
・入賞者には、賞状、メダルを贈呈  
・入賞作品は全肢連「福祉自動販売機」に掲示(予定)  
・入賞作品を用いた2025年度カレンダーを作製し、関係先に配布
- 【注意】** 応募作品の著作権は応募者(制作者)に帰属しますが、主催者は応募作品のWEB 展示、審査結果発表  
および広報のため等に無償で様々なツールへの掲載、展示及び複写する権利を有します。



## 応募について

### 【応募方法】

- ホームページの応募フォームもしくはメールにて応募ください
- ・ 現物は送付不可
  - ・ 写真撮影やスキャンするなどしてデータを送付
  - ・ ファイル形式はPDFまたはJPG(データ容量は1MB以上を推奨)
  - ・ USBメモリ等のメディアに記録して郵送も可(メディアの返却はいたしません)

【WEB】  
<https://www.zenshiren.or.jp/>  
【e-mail】  
[art-zenshiren@zenshiren.or.jp](mailto:art-zenshiren@zenshiren.or.jp)

### ※応募にあたってのお願い※ 下記①～⑦を作品に添えて応募ください

- ①作品タイトル
- ②応募者名
- ③障害名作品審査の参考にします(公表はいたしません)
- ④生年月日、年齢(令和6年10月18日現在)
- ⑤コメント 100字以内で作品制作にあたり工夫した点、制作期間などを本人又は支援者の方が記入してください。
- ⑥所属 父母の会、学校・事業所名等を記入ください(学校の場合は学部学年も記入してください)
- ⑦連絡先
  - ・ 郵便番号、住所
  - ・ 電話番号
  - ・ メールアドレス ※連絡先が所属の場合は、必ず「担当者名」も記入ください

### 【問合せ先】

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会 あーと展覧会2024運営事務局  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル 5階  
TEL : 03-3971-3666 FAX : 03-3971-6079



# 全肢連では、優秀作品を表彰するとともに、応募全作品をホームページで紹介しています。

## 「第3回 WEB展覧会」開幕!!

~~~~~ たくさんのご応募、ありがとうございました ~~~~~

第3回を迎えた今年、全国から寄せられた作品は「443点」。

みなさんの力作を下記リンクからお楽しみください♪

[WEB展覧会場はこちら](#) 

## ✦入賞作品 発表✦

### 最優秀賞



神奈川県立  
座間支援学校  
増田 一虎  
「ふぐ」



### 金賞



鹿児島県立  
出水特別支援学校  
小村 虹陽  
「やどかり」

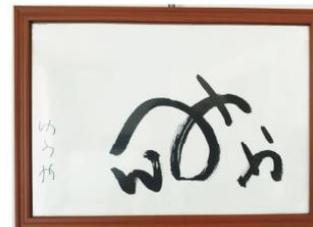


### 会長賞

山口県  
さくらゆき  
「そばにいるよ」



横浜市立上菅田特別支援学校  
高橋 祐也  
「みかん」



### ③療育キャンプの実施

J K A補助事業・全国心身障害児者福祉財団補助事業として、  
地域父母の会を対象に療育キャンプを3地域で実施

### ④地域指導者研修会の開催

J K A補助事業「障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動」の中で  
障害児者と家族、支援者のための研修事業として

- ・障害福祉サービスの支給状況と地域格差
  - ・補装具・日常生活用品の支給状況、
  - ・災害時個別避難計画の策定」等について
- 事前のアンケートも実施のうえ、全国7か所で実施

⑤アステラス製薬(株) 令和6年度フライングスター基金の協力による「車いす送迎用車」  
の寄贈

## IV. 肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業

### ①和やかレクリエーション

会場：東京都豊島区 サンシャイン水族館（サンシャイン60）

対象者：東京都及び近県の特別支援学校在籍者、関東都県肢連会員

募集人数：親子40組140人

サンシャイン水族館を夜（18:00～20:00）貸し切りにして招待します。

# 11月ごろ実施予定

全肢連事務局は3月21日に、豊島区東池袋から、豊島区南大塚にある全国心身障害児福祉財団の建物の5階に移転しました。

全国心身障害児福祉財団は、障害のある子どもたちと家族の拠点として1970年に設立されました。

全肢連はその構成団体として、長年連携して事業を展開しています。

また、同建物7階には、「**全国特別支援教育推進連盟**」「**全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会**」の事務所も置かれており、今後より一層の肢体不自由教育との連携を図ってまいります。



JR大塚駅南口 徒歩5分

全肢連では、全肢長様との連携をより深め、肢体不自由児者の卒後（在学時も含む）のコミュニティーの一つとして、障害児者とそのご家族の福祉の向上と住み慣れた地域で安心安全に心豊かに生活できる環境作りに取り組んでまいります。